

プレスリリース

ペテン原子炉の再起動近し

ペテン 17, September, 2008

NRG は歪みと一次冷却系での気泡発生の原因究明において進展を遂げました。NRG は現在 HFR の再起動を可能にするための解決にむけて努めています。修繕には最短でも 11 月までを要するため照射サイクル 2008-09 は中止されました。

#### 原因

NRG は HFR の一次冷却系における歪みと気泡発生の原因に関して広範の調査を行いました。そして歪みと気泡発生は冷却容器のコンクリート側の腐食に起因することを突き止めました。この腐食は容器のアルミニウム材質を侵したものです。

#### 修繕計画

NRG のいくつかのグループが平行して一次冷却系容器の修繕方法を検討しました。これらのチームはオランダ国内及び国外からの外部熟練技術者と密接に協力し作業を行っています。現時点で 2 方法の修繕方法が検討されています。

第一の可能性は歪みが見られるあたりの容器材質を除去し、容器壁を修繕することです。第二の方法は容器壁の内側にライナーを施し腐食した部分の上を覆う方法です。

NRG は複数の修繕方法の施行業者と打ち合わせ中です。NRG では来週中に最も確実な方法を発注する予定です。方法が確定次第、修繕方法が詳細に計画されます。そして NRG 及び施行契約者は出来る限り速やかな炉運転のため最大限努力します。

#### サイクル 2008-09 運転の停止

適切な修繕を履行するには最短でも 11 月までを要します。したがって NRG は運転サイクル 2008-09（現在計画されている 10 月 25 日から 11 月 23 日までの運転計画）を中止することとしました。

この引き続いての停止は医用アイソトープの供給に大きな影響をもたらします。NRG は顧客と緊密な接触を保ち、可能な限り代替供給を開発、支援します。NRG はまた他のアイソ

トープ製造原子炉と製造計画調整の可能性について緊密な関係を続けています。また進行中の研究についても大きな影響があるため我々は研究者と計画に関して緊密な接触をしています。

更なる情報は NRG コミュニケーション、Leontien Zuurbier,

電話 : +31(0)224-568050

eMail: zuurier@nrg.eu